

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
71	独立行政法人酒類総合研究所
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Inhibitory influence of mecamlamine on the development and the expression of ethanol-induced locomotor sensitization in mice. マウスにおけるエタノール誘導性の運動活性増感の進展と発現へのメカミラミンの阻害効果	
<b>執筆者</b>	
Bhutada PS, Mundhada YR, Bansod KU, Dixit PV, Umathe SN, Mundhada DR.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
<i>Pharmacol Biochem Behav.</i> 2010 Sep;96(3):266-73.	
<b>キーワード</b>	
マウス、エタノール、運動活性、メカミラミン	
<b>要旨</b>	
<p>エタノールを含む薬物乱用の行動への影響において、神経のニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) の関与が示唆されている。nAChR アンタゴニストであるメカミラミンがコカイン、アンフェタミン、ニコチンなどによる運動活性の増感を阻害することが報告されているが、エタノールによって誘導される運動活性については報告がないため、これについて調べた。この結果、メカミラミン急性投与がエタノール急性投与による運動促進効果を用量依存的に弱めた。また、メカミラミンはエタノールの運動活性増感の進展と発現を用量依存的に阻害した。メカミラミンそれ自体には運動活性に影響がなく、血中エタノール濃度、ローターロッドのパフォーマンスにも影響を与えなかった。以上より、nAChR がエタノールによる運動活性の増感作用に関与することが示唆された。</p>	